

【教養試験についての Q&A】

Q1 教養試験にはどのような種類の問題集がありますか。

学歴にかかわらず、各地方公共団体の求める人材像、重視する能力、受験者層に応じて問題集を選択していただけるよう、問題の種類と難度によって2タイプ4種類の問題集をご用意しました。

Q2「Standard」はどのような問題集ですか。

出題分野構成は、知識分野 20 題(時事, 社会・人文, 自然に関する一般知識を問う問題を出題)・知能分野 20 題(文章理解, 判断・数的推理, 資料解釈に関する能力を問う問題を出題)となっています。

概要は次の通りです。

- ・時事を重視し、社会的に幅広い分野の題材 (ICT, 環境問題など) を出題します。なお、「古文」, 「哲学・文学・芸術等」, 「国語(漢字の読み, ことわざ等)」の出題はありません。
- ・難易度は I と II の 2 段階です。
- ・「 Standard- I 」は大学で学習するような内容を含むことから大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験でのご利用をお勧めします。
- ・「 Standard- II 」は高校で学習する内容を含むことから、高校卒業程度や短大卒業程度の受験者を対象とした試験から、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験まで、幅広くご利用いただけます。

Q3「Logical」はどのような問題集ですか。

知識より論理的思考力等の知能を重視する問題集で、出題分野構成は、知能分野 27 題(文章理解, 判断・数的推理, 資料解釈に関する能力を問う問題を出題)・知識分野 13 題(時事, 社会・人文に関する一般知識を問う問題を出題)となっています。

概要は次の通りです。

- ・知能分野では Standard よりも文章理解, 判断・数的推理, 資料解釈の出題をそれぞれ増やす一方、知識分野では「自然に関する一般知識」の出題がありません。また、「古文」, 「哲学・文学・芸術等」, 「国語(漢字の読み, ことわざ等)」の出題はありません。
- ・知識分野では、これまでと比べて時事を重視し、社会的に幅広い分野の題材 (ICT, 環境問題など) を出題します。
- ・難度は I と II の 2 段階です。
- ・「 Logical- I 」は大学で学習するような内容を含みますが、Standard- I よりもやや易しくなります。大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験でのご

利用をお勧めします。

- ・「Logical-Ⅱ」は高校で学習する内容を含むことから、高校卒業程度や短大卒業程度の受験者を対象とした試験から、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験まで、幅広くご利用いただけます。

Q4「Standard」と「Logical」の違いは何ですか。

「Standard」の構成は、知識分野と知能分野の出題割合が半分ずつとなっておりますが、「Logical」は知識分野と知能分野の出題割合が約1:2となっております。

「Standard」は、時事、社会・人文、自然に関する幅広い一般知識に関する問題と、文章理解、判断・数的推理、資料解釈といった知能分野に関する問題をバランスよく出題しています。

これに対し、「Logical」は、論理的な思考力や理解力、判断力などの知能的側面の検証をより重視するため、全40題のうち27題を知能分野の出題としております。一方、知識分野では自然分野からの出題はありません。

Q5「Logical」ではなぜ自然分野を出題しないのですか。

「Logical」では、知能分野を重視することから、知識分野の問題が少ない中で、受験者の負担を考慮し、より効率的に業務との関連が強い分野の知識を問う方が望ましいと考え、時事、社会・人文の分野からの出題とすることにしました。ただ、自然に関する身近で基本的な事柄や常識等は時事の分野のテーマとして取り上げ、出題することがあります。